

着任以来、ケベックとカナダの歴史に関する 3e、4e secondaire 用の教科書を読んでいきます。この教科書は、二冊で合計 1000 ページくらいになりますが、わかりやすい文章に加えて、地図、写真、グラフ、イラストなどが充実しており、また理解を確かめる質問が随所にあるなど、とても工夫されています。日本でいえば中学～高校生にあたる生徒さん向けです。おそらく記述内容は多くの前提知識を要求しておらず、また、フランス語も比較的シンプルな上に、基礎的歴史用語も学べるということで、私のような、ケベック在住が初めての非ネイティブ・スピーカーには格好の教材となっています。この読書のおかげで、日々、お会いする当地の方々のお話やメディアで見聞きするニュースなどの背景が以前よりも良く理解できるようになった気がします。

● この場でも紹介したモントリオール美術館での広重展が好評だったらしく、展示が 10 月 13 日まで延長されています。日本への関心を示す動きとしてうれしい限りです。まだご覧になられていない方は、行かれてみてはいかがでしょうか。同展のキュレーターであるラウラ・ヴィーゴ氏に本展の意義や見所にかかるお話を聞いたビデオもアップロードしていますので、以下ご参考まで。

(仏語) <https://www.facebook.com/watch/?v=3368094416828561>

(英語) <https://www.facebook.com/JapanConsMontreal/videos/1420469778649004>

(伊語) <https://www.facebook.com/JapanConsMontreal/videos/1215880919611435>

● いつでもどこでもだれでも日本の映画や映像を見ることができる、国際交流基金による映像配信サイト JFF Theater というのがあります。今後、日本映画の話題作から、次世代のインディペンデント映画、ドキュメンタリー映像まで、様々な映像を配信していくこととなっているところ、新しい点としてフランス語でも字幕が付くことになりました。Francophones の方々にも是非アクセスしていただければと思います。

<https://en.jff.jp/jpf.go.jp/>

(参考) 独立行政法人 国際交流基金 (The Japan Foundation、JF) は、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関。

● 8 月 28 日、石田優子・在広島カナダ名誉領事 (広島経済大学学長) と面会し、日本と当館管轄州の更なる友好関係の強化について意見交換を行いました。



● 9月5日、モントリオール商工会ルブラン会長を表敬し、日本とケベックの経済関係について意見交換を行いました。

● 9月27日、生け花インターナショナル・モントリオール支部による2024-2025年の第一回例会にお邪魔しました。『Variation on a material:Chrysanthemum』というテーマの下で、各流派の方々が、その場で見事な作品を作り上げ披露しておられました。30名ほどの参加者の方々が、流派や作品にかかる説明を聞きながら、美しい作品に見入っていました。



● 28日、当館高久首席領事が、ケベックシティで開催されたラヴァル大学エスパスジャポン書道部による展示とレクデモに出席しました。期間中900人を超える来場者があったとのことで、ケベックの方々の関心の広さと高まりを感じました。

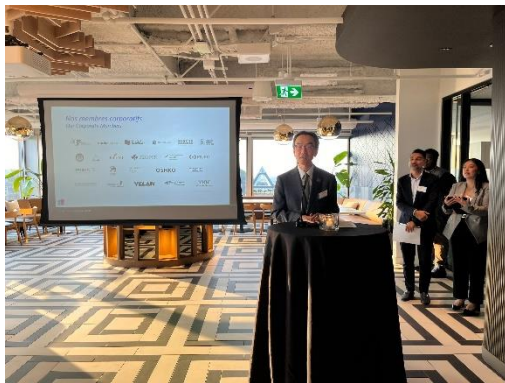


上記、生け花インターナショナルによる行事と共に、各地で日本文化普及にかかるに対する息の長い活動をされている方々に感謝の意を表します。当館は、今後とも、日本文化の普及を応援して参ります。

● 9月19日、ケベック州国際関係省の主催する総領事向け会合に出席しました。その場で、ビロン国際関係大臣と、最近の日本ケベック関係について懇談しました。



● 10月3日、ケベック・日本・ビジネスフォーラム (QJBF) によるネットワーキング会合に出席しました。Anais Nguyen氏が会長になってからの初会合とのことです。QJBFは37年の長きにわたり続いています。日本とケベックの経済関係深化のため、歴代と現在の運営委員会の方々がボランティアとして会を支えてこられたことに深く敬意を表します。



*上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などを行うことができ、大変有意義な1か月でした。

*本件レターは仏・英語にても、メルマガ購読者に配信しています。